

2006年度

# 中間決算説明会

常務取締役 執行役員経営管理第1本部長  
平井 茂雄

<http://www.eneos.co.jp>

2006年10月31日



**新日本石油**  
Your Choice of Energy

# 06年度上期決算のポイント

経常利益は、1,320億円と前年同期比△181億円減益

〔在庫影響除き経常利益は、701億円と前年同期比+325億円増益〕

- ◆ 石化マージンのアップ等があったものの、在庫影響のプラスが大幅に減少したことにより、石油精製・販売部門が減益
- ◆ 原油価格の上昇等により石油・天然ガス開発部門が増益
- ◆ 受取配当金の増加等により営業外損益が良化

# 06年度上期 損益概要

	05年度上期			06年度上期		
		増 減		増 減		06年度上期 (7月発表)
原油価格 (\$ / Bbl)	51.8	+ 14.3	66.1	+ 0.6		65.5
為替レート (円 / \$)	108.8	+ 6.6	115.4	+ 0.5		114.9
ポイント等除き 販売数量 (万 KL)	3,413	△ 115	3,298	△ 22		3,320
売上高	兆 億円 27,010	+ 4,973	兆 億円 31,983	+ 2,283		兆 億円 29,700
営業利益 (在庫影響除き)	1,455 (1,125)	△ 307 (△ 506)	1,148 (619)	+ 258 (+ 129)		890 (490)
営業外損益	46	+ 126	172	+ 22		150
経常利益 (在庫影響除き)	1,501 (376)	△ 181 (+ 325)	1,320 (701)	+ 280 (+ 151)		1,040 (550)
特別損益	△ 28	+ 21	△ 7	+ 23		△ 30
当期純利益	819	△ 178	641	+ 131		510

# 06年度上期セグメント別営業利益の増減<前年同期比>

前期比△307億円

05年度上期

06年度上期

(1,455億円 → 1,148億円)

	営業利益		06/上期経常利益(参考)
I. 石油精製・販売 (在庫影響除き)	<u>△485</u> 億円	(1,061 億円 → 576 億円)	693 億円
うち石油化学製品	+21 億円	(△64 億円 → △43 億円)	74 億円
	+96 億円	(190 億円 → 286 億円)	288 億円
II. 石油・天然ガス開発	<u>+192</u> 億円	(358 億円 → 550 億円)	605 億円
III. 建設・その他	△14 億円	(36 億円 → 22 億円)	22 億円

# 石油精製・販売部門 営業利益増減分析

営業利益減(△485億円)のポイント

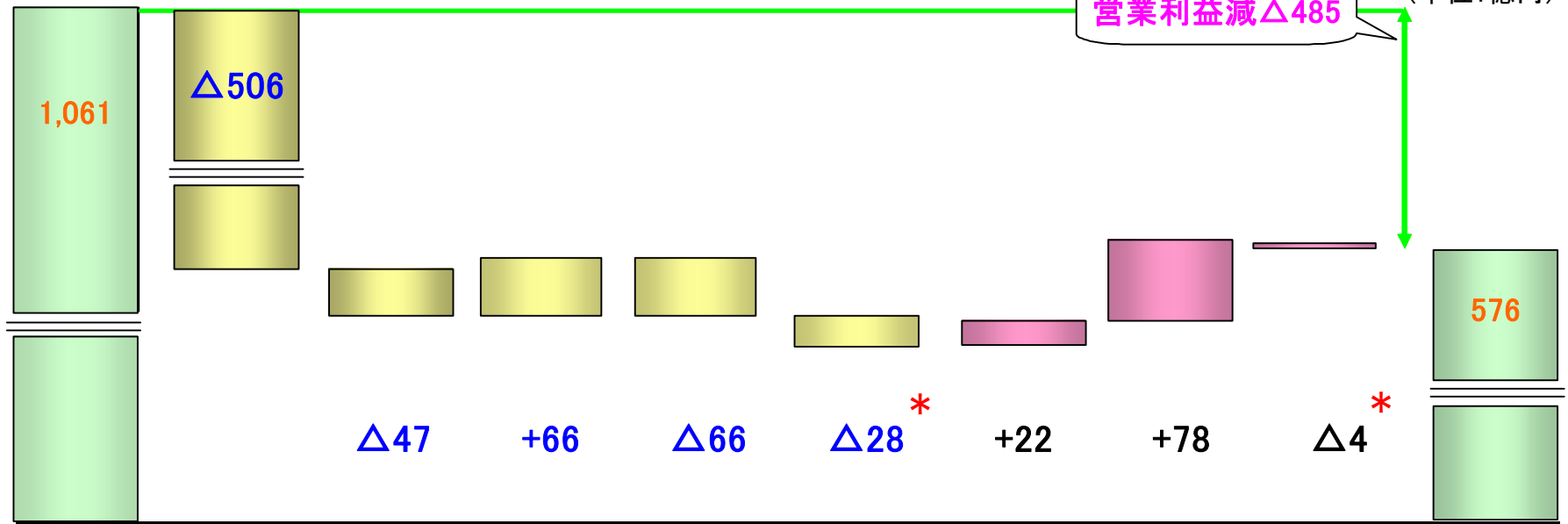
- ・在庫影響のプラスが大幅に減少
- ・中間3品、C重油を中心に石油製品数量は減少
- ・安全対策強化、資機材高騰により設備費等の経費が増加
- ・パラキシレン、プロピレンを中心に石化マージンは良化

\* コスト削減・効率化  
(経費増)計 △19

- ・石油製品 △28
- ・石油化学製品 △4
- ・建設・その他 +13

営業利益減△485

(単位:億円)



石油製品 △581

石油化学製品 +96

05年度  
上期実績  
営業利益

在庫影響  
増減

数量

石油マージン

タイムラグ

自家使用燃料  
代の悪化等

コスト削減・  
効率化

数量

石化  
マージン

コスト削減・  
効率化

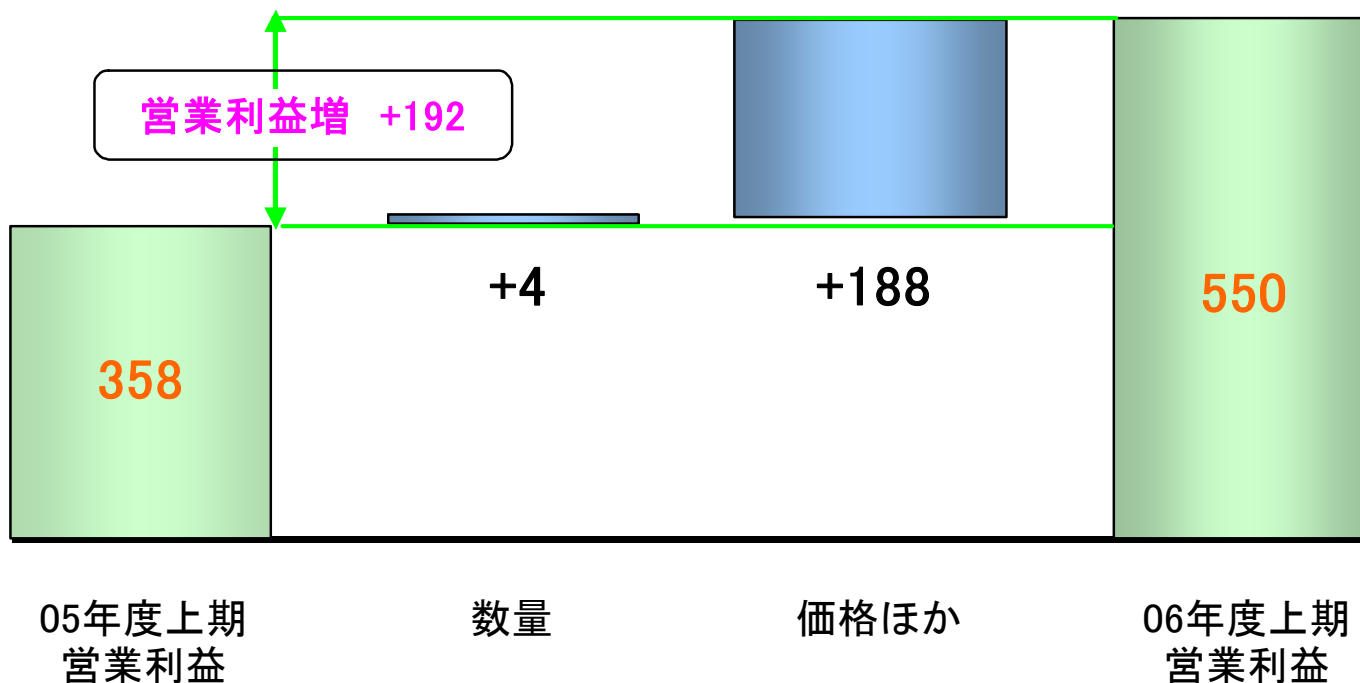
06年度  
上期実績  
営業利益

# 石油・天然ガス開発部門 営業利益増減分析

営業利益増減(+192億円)のポイント

- ・販売数量はほぼ前年同期並み
- ・原油、ガス価格の上昇により販売価格が上昇

(単位:億円)



# 06年度決算見通し(7月公表を修正)のポイント

経常利益は、1,840億円と前回見通し(7月公表)比△220億円減益  
〔在庫影響除き経常利益では1,800億円と前回見通し比+180億円増益〕

## ◆ 原油価格および為替レート的前提を見直し

		\$/Bbl		前回(06/7)
• WTI	(06/10月以降)	60	←	70
• Dubai	(06/11月積み以降)	55	←	65
• 処理原油代(年度平均)		61.1	←	65.7
• 為替レート		円/\$	←	115

◆ 足元の好調な市況を反映し、石化マージンが大幅に良化したものの、在庫影響のプラスが大幅に減少したことにより、石油精製・販売部門が減益

◆ コスト削減・効率化は、前回比±0〔△20(前回) → △20(今回)〕

# 06年度損益概要(年度 見通し)

	05年度実績	増 減	06年度見通し	増 減	06年度見通し (7月発表)
原油価格(\$/Bbl)	54.0	+7.1	61.1	△4.6	65.7
為替レート(円/\$)	112.7	+4.8	117.5	+2.5	115
ポイント等除き 販売数量(万KL)	7,285	△415	6,870	△10	6,880
売上高	兆 億円 61,180	億円 +6,120	兆 億円 67,300	億円 +1,700	兆 億円 65,600
営業利益 (在庫影響)	3,039	△1,439	1,600	△220	1,820
(在庫影響除き)	(1,664)	(△1,624)	(40)	(△400)	(440)
	(1,375)	(+185)	(1,560)	(+180)	(1,380)
営業外損益	52	+188	240	0	240
経常利益 (在庫影響除き)	3,091	△1,251	1,840	△220	2,060
	(1,427)	(+373)	(1,800)	(+180)	(1,620)
特別損益	△108	+8	△100	△40	△60
当期純利益	1,665	△895	770	△210	980
連結ROE	% 16.0	% △9.4	% 6.6	% △1.7	% 8.3

(下期)  
56.6

(下期)  
119.5



# 06年度セグメント別営業利益の増減 <前回(7月)見通し比 >

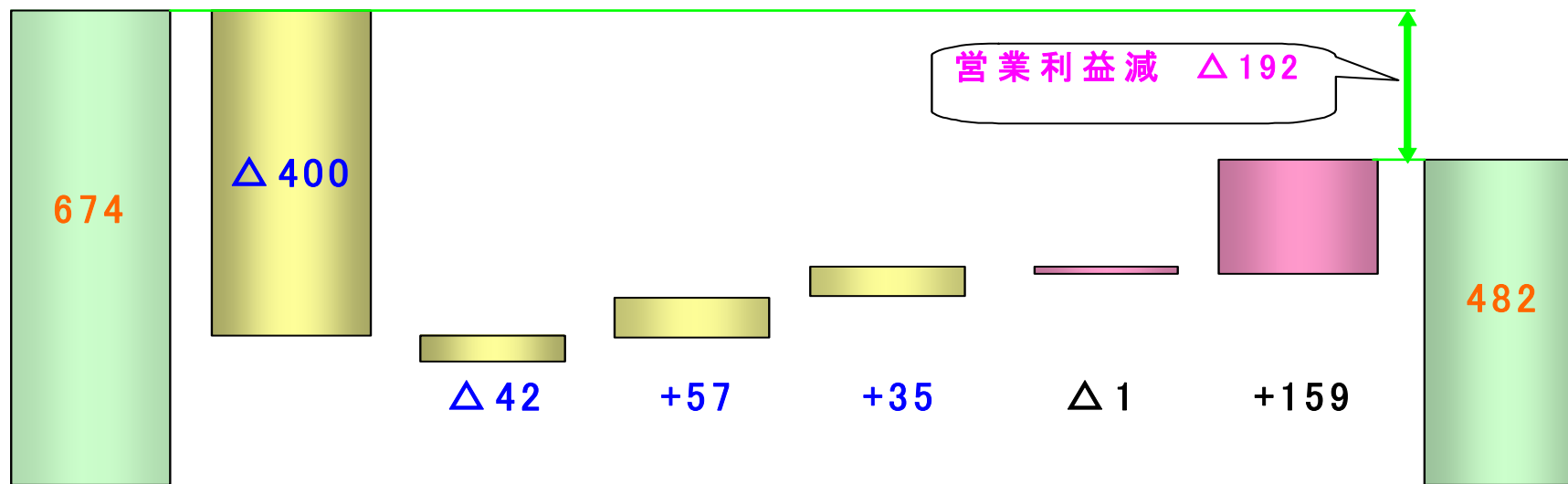
前回比  $\Delta 220$  億円
 06年度(前回) (1,820
→
06年度(今回) 1,600)

	営業利益		06年度経常利益(参考)
I. 石油精製・販売	<u><math>\Delta 192</math> 億円</u>	( 674 億円 → 482 億円)	644 億円
(在庫影響除き)	+208 億円	( 234 億円 → 442 億円)	604 億円
うち石油化学製品	+158 億円	( 470 億円 → 628 億円)	625 億円
II. 石油・天然ガス開発	$\Delta 33$ 億円	( 1,012 億円 → 979 億円)	1,057 億円
III. 建設・その他	+5 億円	( 134 億円 → 139 億円)	139 億円

# 石油精製・販売部門 営業利益増減分析

営業利益増減(△192億円)のポイント

- ・在庫影響のプラスが大幅に減少
- ・原油価格前提の下方修正によるタイムラグの良化、自家使用燃料代のダウの影響等により、石油マージンが良化
- ・パラキシレン、ベンゼン等の市況好調を反映し、石化マージンが良化



石油製品  
△350

石油化学製品  
+158

石油マージン

06年度  
見通し  
(前回)  
営業利益

在庫影響  
増減

数量

タイムラグ

自家使用燃料  
代の良化等

数量

石化マージ  
ンほか

06年度  
見通し  
(今回)  
営業利益

## ＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

# 2006年度上期決算

## 参考データ集

2006年10月31日

# <目次>

## 1. 参考データ①(06年度上期・06年度決算関連)

06年度上期 セグメント別売上高・営業利益(前年同期比) .....	P3
06年度上期 セグメント別売上高・営業利益(前回公表比) .....	P4
06年度 セグメント別売上高・営業利益(前年度比) .....	P5
06年度 セグメント別売上高・営業利益(前回公表比) .....	P6
油種別販売数量(単体) .....	P7

## 2. 参考データ②(ガソリン・石化市況)

スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移 .....	P8
スプレッド(パラキシレンードバイ)の推移 .....	P9
スプレッド(ベンゼンードバイ)の推移 .....	P10
スプレッド(プロピレンードバイ)の推移 .....	P11

## 3. 参考データ③(石油関連事業データ)

精製能力およびトッパー稼働率の推移 .....	P12
販売シェア(白油4品・消費ベース) .....	P13
固定式SS数 .....	P14
社有SS数、セルフSS数、Dr.Drive数 .....	P15
油槽所数、従業員数 .....	P16

## 4. 参考データ④(石油・天然ガス開発関連ほか)

主な海外拠点 .....	P17
主な石油・天然ガス開発プロジェクト .....	P18
主な石油・天然ガス開発プロジェクトの概要 .....	P19
個別プロジェクトの概要(米国メキシコ湾) .....	P20
" (英国北海) .....	P21・22・23
" (ベトナム) .....	P24
" (ミャンマー) .....	P25
" (マレーシア) .....	P26
" (サラワク) .....	P27
" (パプアニューギニア) .....	P28
" (オーストラリア) .....	P29・30
" (カナダ) .....	P31
" (インドネシア) .....	P32
" (リビア) .....	P33

## <06年度上期セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)>

(1) 売上高

(単位：億円)

合 計		31,983(+4,973)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学				
2,300(+348)	29,260(+4,769)	966(+205)	1,448(+43)	309(▲44)

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

(2) 営業利益

(単位：億円)

合 計		1,148(▲307)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学				
286(+96)	576(▲485)	550(+192)	▲6(▲2)	28(▲12)

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

# <06年度上期セグメント別売上高・営業利益(前回公表比)>

## (1) 売上高

(単位：億円)

合 計		31,983(+2,283)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学 2,300(+100)	29,260(+2,260)	966(+66)	1,448(▲52)	309(+9)

※カッコ内は前回公表比増減を示す。

## (2) 営業利益

(単位：億円)

合 計		1,148(+258)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学 286(+70)	576(+203)	550(+54)	▲6(▲3)	28(+4)

※カッコ内は前回公表比増減を示す。

# <06年度セグメント別売上高・営業利益(前年度比)>

## (1) 売上高

(単位：億円)

合 計				
		67,300(+6,120)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学				
4,600(+389)	61,000(+6,174)	1,900(+95)	3,800(+55)	600(▲204)

※カッコ内は前年度比増減を示す。

## (2) 営業利益

(単位：億円)

合 計				
		1,600(▲1,439)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学				
628(+230)	482(▲1,490)	979(+58)	86(+14)	53(▲21)

※カッコ内は前年度比増減を示す。



# <06年度セグメント別売上高・営業利益(前回公表比)>

## (1) 売上高

(単位：億円)

合 計		67,300(+1,700)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学 4,600(+100)	61,000(+1,700)	1,900(±0)	3,800(±0)	600(±0)

※カッコ内は前回公表比増減を示す。

## (2) 営業利益

(単位：億円)

合 計		1,600(▲220)		
石油精製・販売部門		石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他
うち石油化学 628(+158)	482(▲192)	979(▲33)	86(±0)	53(+5)

※カッコ内は前回公表比増減を示す。

# < 油種別販売数量(単体) >

(単位: 万KL)

油種	05年度 上期	06年度 上期	増減率(%)
揮発油	746	734	▲1.5
(ハイオク)	(146)	(129)	(▲11.8)
(レギュラー)	(592)	(598)	(+1.0)
ナフサ	112	86	▲23.0
ジェット	57	61	+5.5
灯油	219	192	▲12.1
軽油	431	419	▲2.9
A重油	376	340	▲9.4
C重油	427	356	▲16.7
(電力C重油)	(214)	(181)	(▲15.3)
(一般C重油)	(213)	(175)	(▲18.0)
内需燃料油計	2,368	2,188	▲7.6
原油	103	122	+17.8
潤滑油・特品	135	131	▲3.0
化学品	187	187	+0.2
輸出燃料油ほか	620	670	+8.1
ジョイント等除き計	3,413	3,298	▲3.4
ジョイント等	900	967	+7.4
総計	4,313	4,265	▲1.1

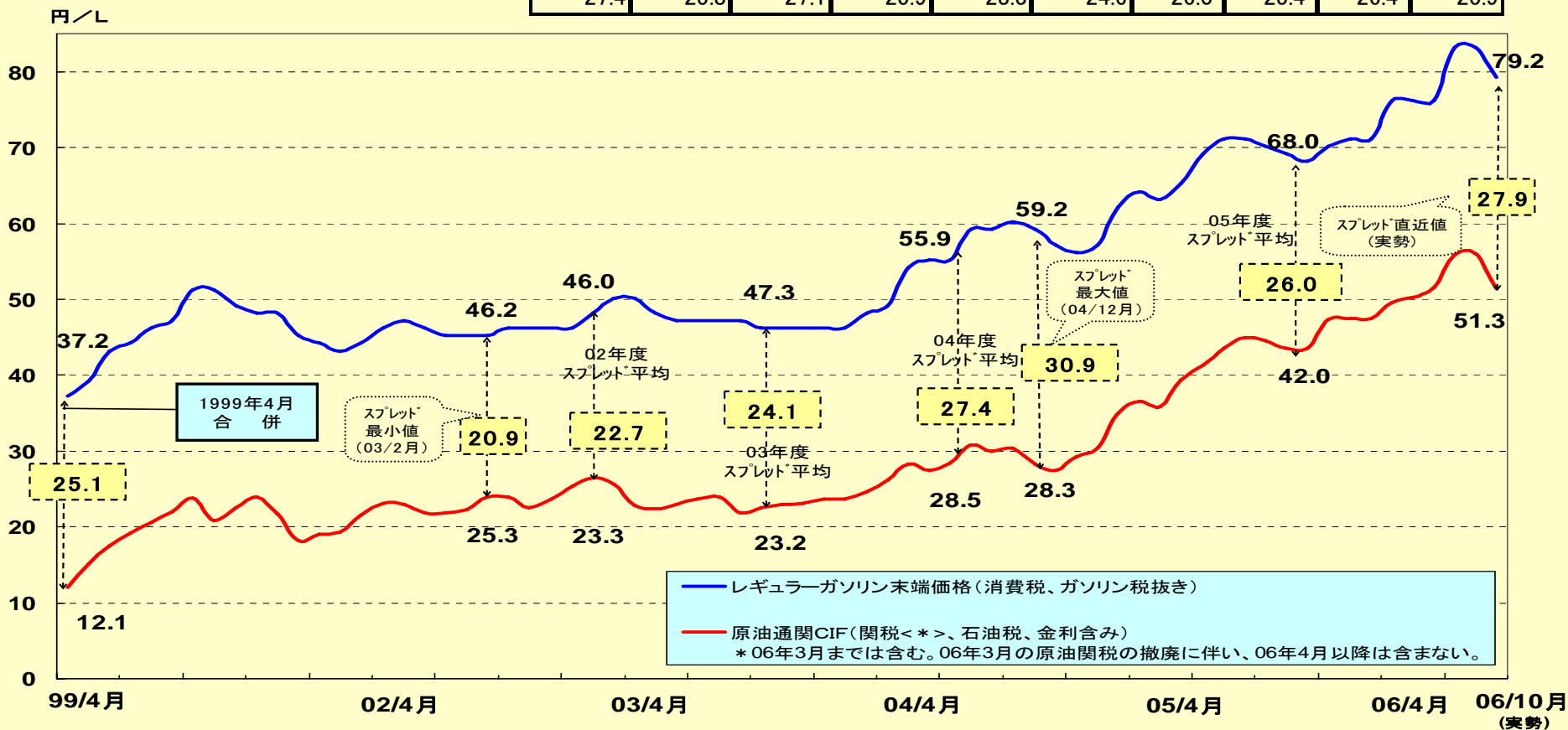
年度見通し (7月発表)	年度見通し (今回発表)	増減率(%)
1,477	1,433	▲3.0
(282)	(256)	(▲9.2)
(1,181)	(1,163)	(▲1.5)
193	190	▲1.6
111	121	+9.0
749	697	▲6.9
838	842	+0.5
777	745	▲4.1
665	679	+2.1
(286)	(333)	(+16.4)
(379)	(346)	(▲8.7)
4,810	4,707	▲2.1
160	214	+33.8
284	277	▲2.5
397	396	▲0.3
1,229	1,276	+3.8
6,880	6,870	▲0.1
2,090	2,070	▲1.0
8,970	8,940	▲0.3

# 参考データ②

## <スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移>

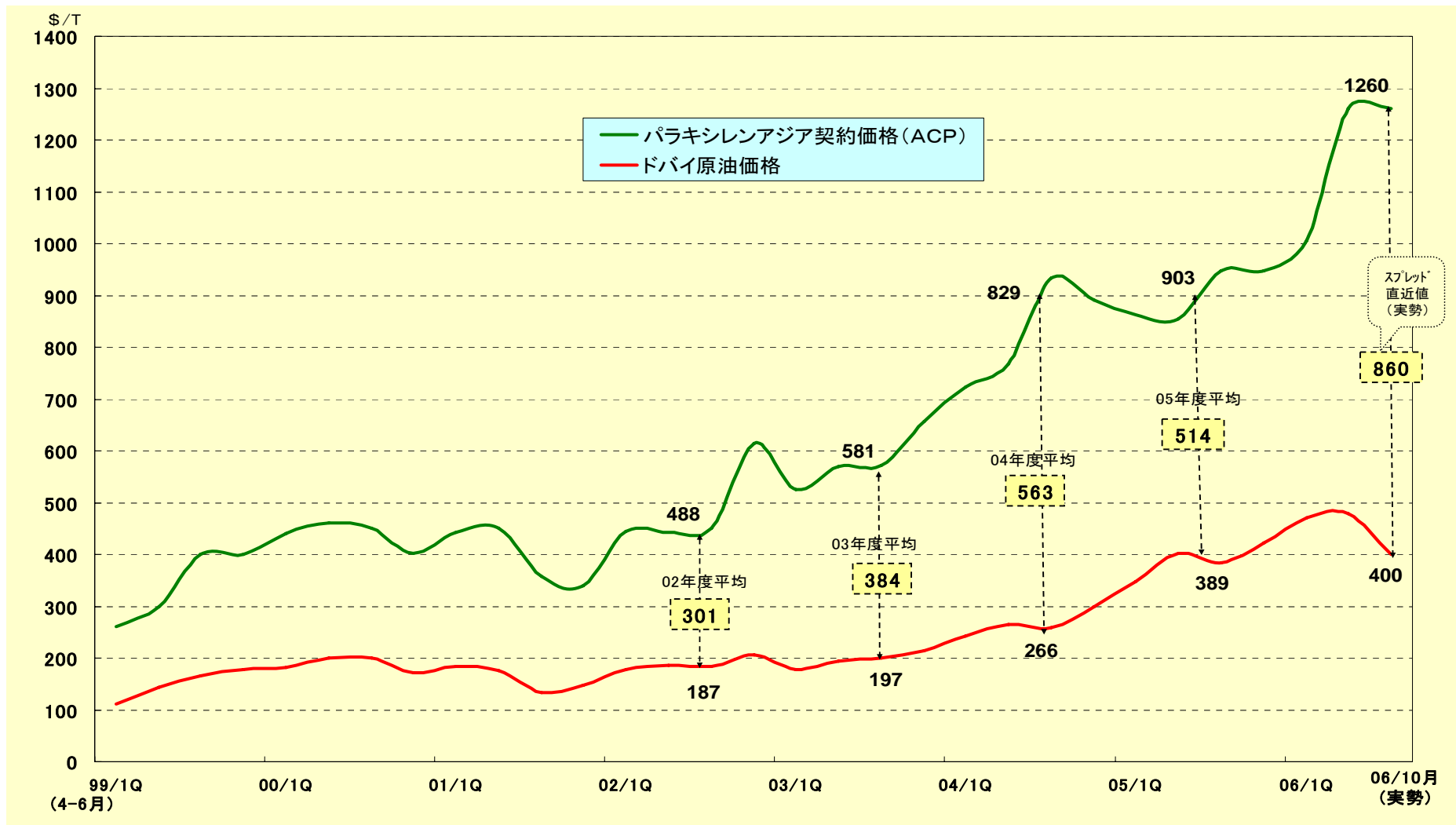
4半期毎のスプレッド推移(05年度以降)

'05/4-6	'05/7-9	'05/上期	'05/10-12	'06/1-3	'05下期	05年度	'06/4-6	'06/7-9	'06/上期
27.4	25.8	27.1	25.9	23.3	24.6	26.0	25.4	26.4	25.9



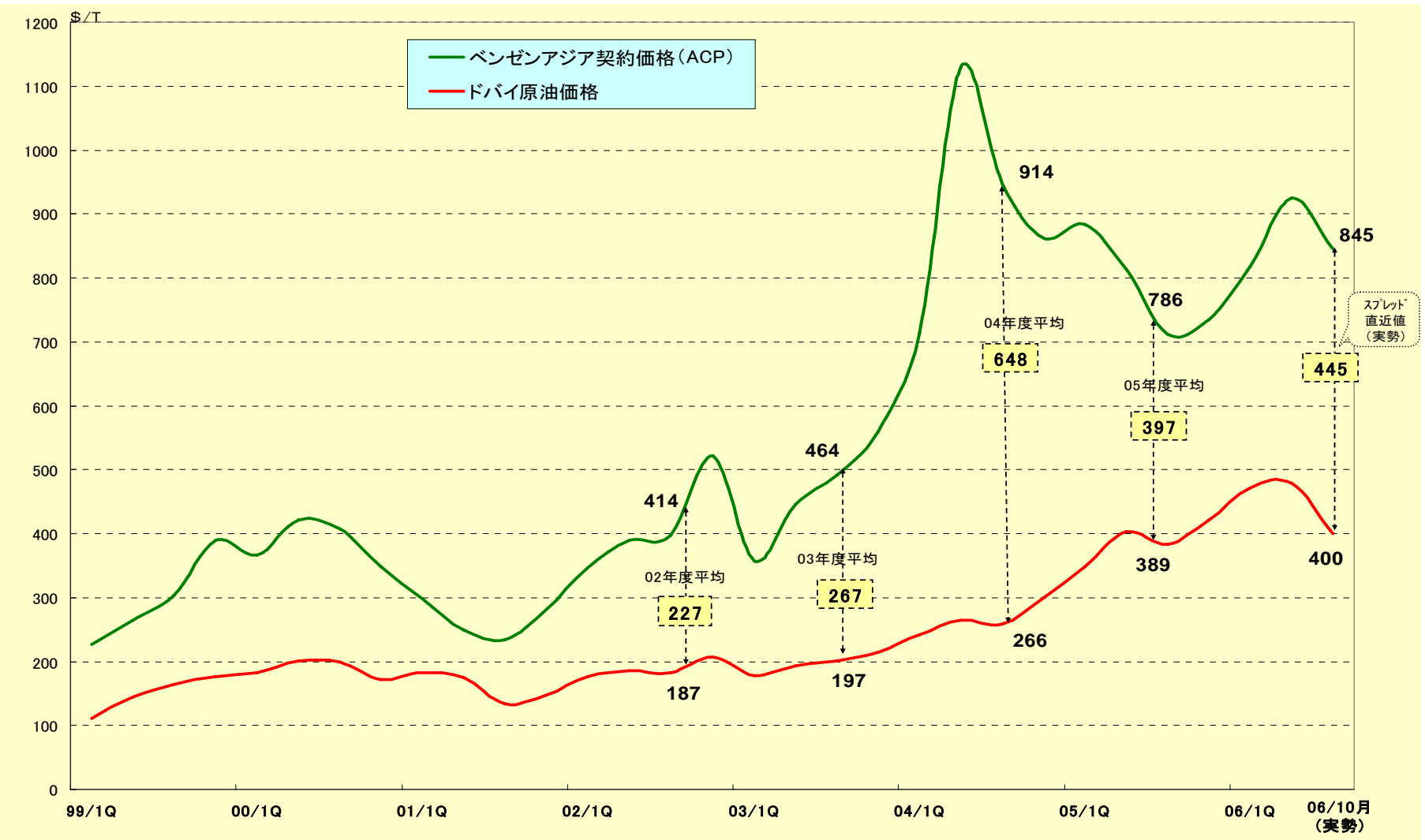
出所: 石油情報センターほか

# <スプレッド(パラキシレン価格ードバイ原油価格)の推移>



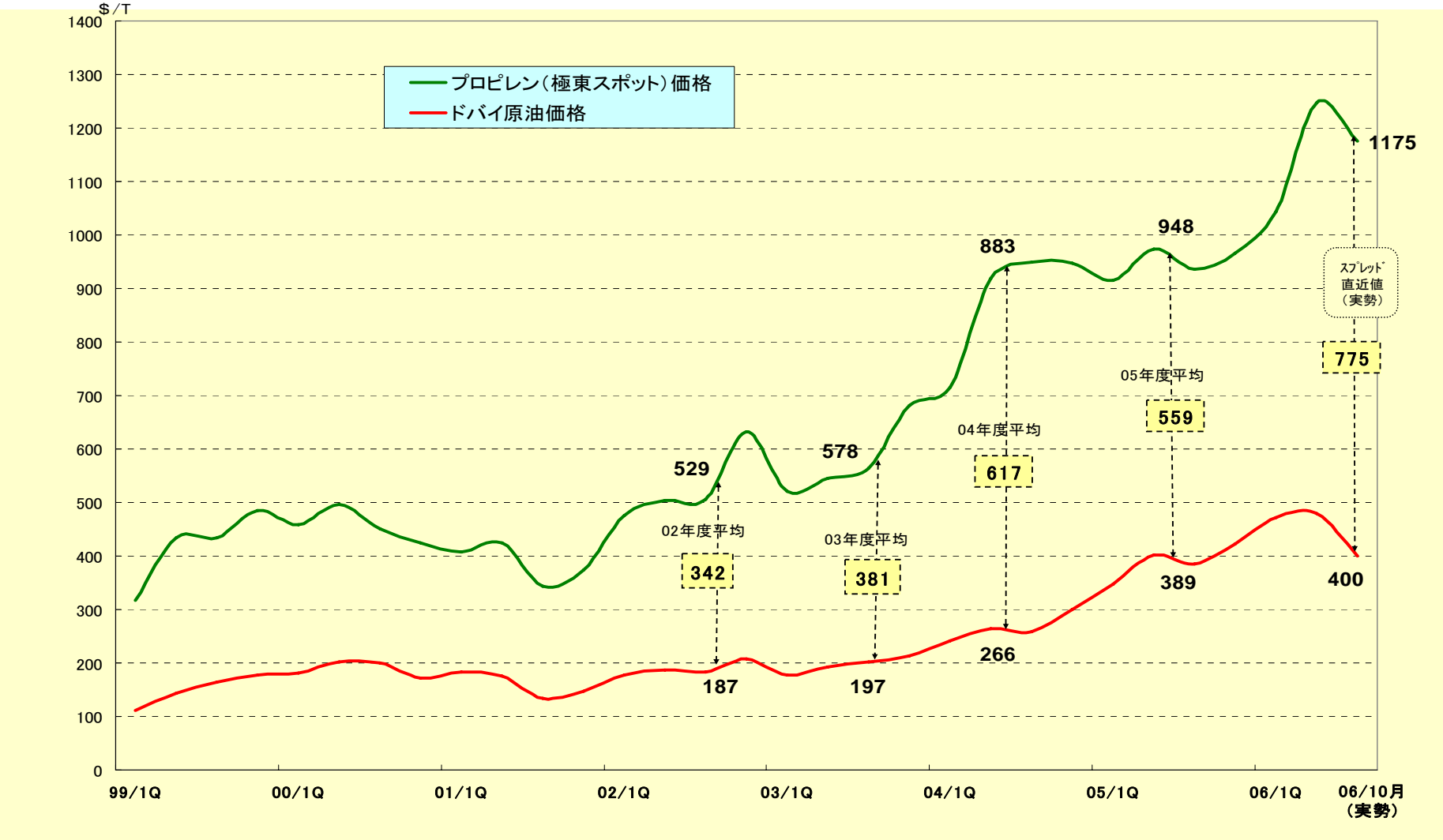
※数値は四半期平均値ベース

# <スプレッド(ベンゼン価格ードバイ原油価格)の推移>



※数値は四半期平均値ベース

# <スプレッド(プロピレン価格ードバイ原油価格)の推移>



※数値は四半期平均値ベース

## 参考データ③

# <精製能力およびトッパ―稼働率の推移>

合併

(単位:百万BD)

	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
新日石グループ <sup>*1</sup>	1.35 (80%)	1.37 (78%)	1.35 (74%)	1.35 (76%)	1.23 (81%)	1.22 (84%)	1.27 (83%)
全 国	5.32 (81%)	5.37 (78%)	5.35 (77%)	5.27 (79%)	4.97 (81%)	4.98 (81%)	4.89 <sup>*3</sup> (83%)

	2004年度			2005年度			2006年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期
新日石グループ	1.22 <sup>*4</sup> (79%) <sup>*2</sup>	1.22	1.22 (87%)	1.22	1.22	1.22 (88%)	1.22 (83%)
全 国	4.77 <sup>*4</sup> (80%) <sup>*2</sup>	4.77	4.77 (84%)	4.77	4.77	4.77 (87%)	4.78 <sup>*5</sup> (81%)

註: 1. 1998年度までは、旧日本石油および旧三菱石油の合算ベース。

2. 括弧内の数値は各年度における平均値。

3. 原油処理停止(出光興産兵庫製油所:2003年4月、出光興産グループ沖縄石油精製:2003年11月)

4. 原油処理停止(出光興産グループ東邦石油:2004年4月)、原油処理の一部停止(新日本石油根岸製油所:2004年4月、昭和シェル石油グループ昭和四日市石油:2004年6月)

5. 2006年上期全国稼働率は見込み。

出所:経済産業省、石油連盟ほか

# ＜販売シェア(白油4品・消費ベース)＞

(%)

油種	合併							
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度 上期
揮発油	23.2	22.9	22.8	23.2	23.3	23.9	23.6	24.0
(ハイオク)	23.4	23.2	24.1	24.6	24.6	25.4	26.2	25.7
灯油	23.4	23.3	23.9	24.4	24.3	27.6	27.7	30.4
軽油	22.8	22.4	22.0	22.7	22.6	23.0	23.2	23.3
A重油	23.4	23.9	24.3	26.3	28.1	30.4	29.1	29.9
4品計	23.2	23.0	23.1	23.9	24.2	25.5	25.3	25.5

註：数値は、資源エネルギー庁公表値に基づき当社作成



# <固定式SS数>

	特石法廃止			合併								1995年度 2005年度	2006年6月
	1995年度	1996年度	1997年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度			
新日本石油 <sup>*1</sup>	14,895	14,690	14,283	13,162	12,669	11,987	11,694	11,333	11,059	10,807	72.6%	10,592 <sup>*5</sup>	
E M G K <sup>*2</sup>	9,283	9,276	8,893	8,101	7,898	7,597	7,278	6,904	6,701	6,464	69.6%	6,373 <sup>*6</sup>	
出光興産	9,037	8,879	7,706	6,493	6,114	5,896	5,624	5,508	5,358	5,249	58.1%	5,225 <sup>*6</sup>	
昭和シェル	7,091	6,937	6,728	5,962	5,642	5,402	5,153	4,968	4,808	4,689	66.1%	4,668 <sup>*6</sup>	
コスモ	6,857	6,802	6,573	5,916	5,600	5,373	5,152	4,926	4,709	4,552	66.4%	4,503 <sup>*6</sup>	
Jエナジー	6,384	6,232	6,079	4,952	4,646	4,476	4,296	4,150	4,023	3,833	60.0%	3,791 <sup>*6</sup>	
その他元売 <sup>*3</sup>	2,314	2,510	2,418	2,128	1,916	1,733	1,642	1,593	1,500	1,439	62.2%	1,443 <sup>*6</sup>	
元売計	55,861 (96.9%)	55,326 (96.4%)	52,680 (93.8%)	46,714 (87.6%)	44,485 (85.6%)	42,464 (83.4%)	40,839 (82.3%)	39,382 (80.4%)	38,158 (79.5%)	37,033 (78.8%)	66.3%	36,595 (-)	
P B ほか	1,792 (3.1%)	2,079 (3.6%)	3,469 (6.2%)	6,593 (12.4%)	7,472 (14.4%)	8,436 <sup>*4</sup> (16.6%)	8,761 <sup>*4</sup> (17.7%)	9,618 <sup>*4</sup> (19.6%)	9,842 <sup>*4</sup> (20.5%)	9,967 <sup>*4</sup> (21.2%)	556.2%	- -	
合計	57,653	57,405	56,149	53,307	51,957	50,900 <sup>*4</sup>	49,600 <sup>*4</sup>	49,000 <sup>*4</sup>	48,000 <sup>*4</sup>	47,000 <sup>*4</sup>	81.5%	-	

註: 1. 1998年度までは、旧日本石油および旧三菱石油の合算ベース。

2. エッソ、モービル、ゼネラル、キグナスの合算ベース。

3. 九石、太陽、三井の合算ベース。

4. 当社推定

5. 2006年9月末時点

6. 2006年6月末時点

## <社有SS数>

	合 併							
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年9月
新日本石油	3,053	2,945	2,857	2,746	2,607	2,518	2,436	2,379

## <セルフSS数>

	合 併							
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年9月
新日本石油	21	54	142	342	520	651	794	917
全 国	191*	422*	1,353*	2,522*	3,423*	3,493*	4,257*	4,798*

註: 元売系列のセルフSSのみ

出所: 石油情報センター、燃料油脂新聞

## <Dr. Drive数>

	合 併							
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年9月
新日本石油	44	390	1,283	1,610	1,871	1,963	2,505	2,480

## <油槽所数>

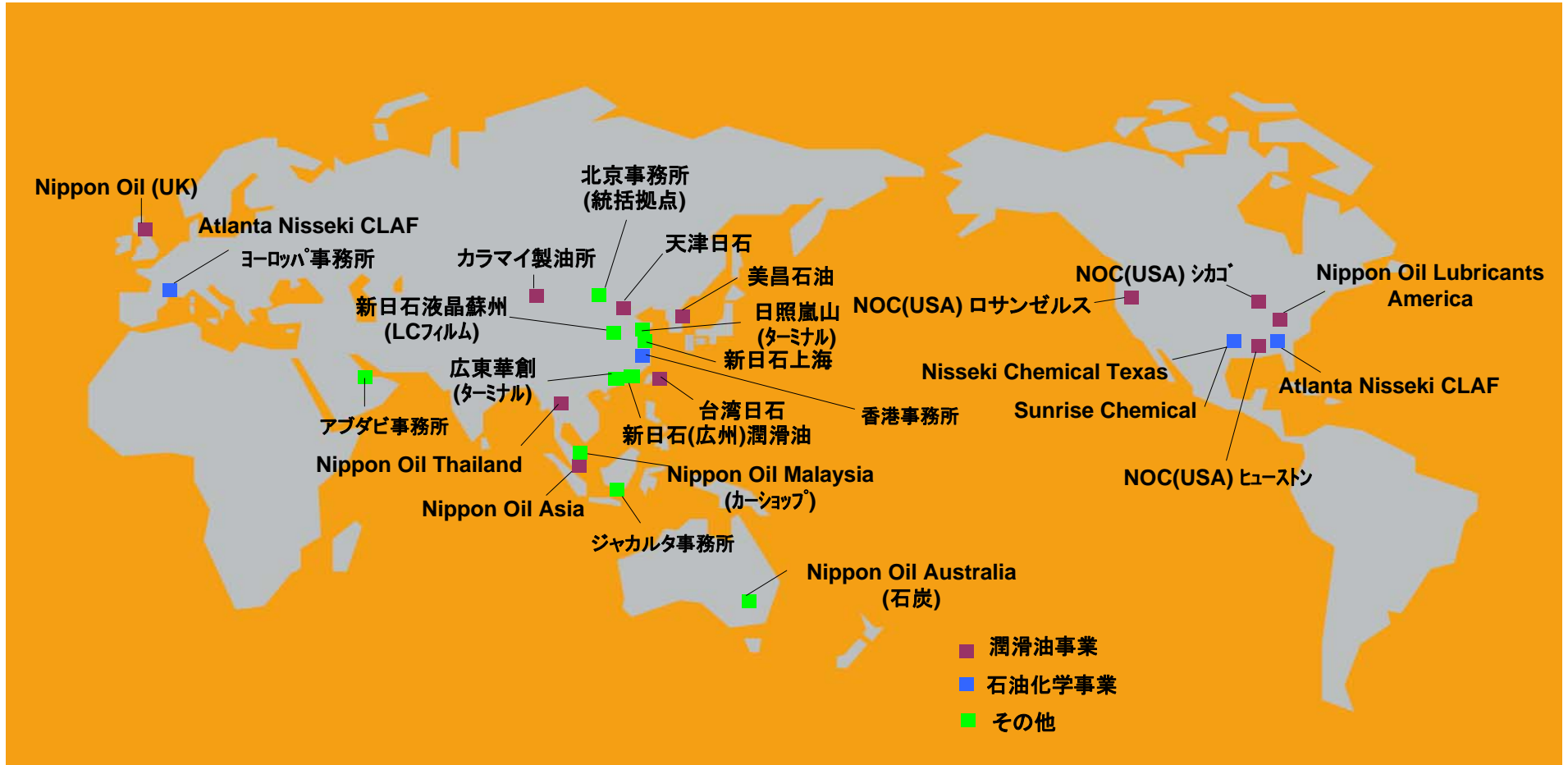
	合 併				
	1999年4月	2000年4月	2001年4月	2002年4月	2003年4月
新日本石油	109	93	75	62	55
	2004年4月	2005年4月	2006年4月	2006年9月	
	51	50	50	48	

## <従業員数>

	合 併				
	1999年3月	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月
新日本石油グループ	15,964	15,570	14,895	14,368	13,882
(うち新日石・新日精)	(5,163)	(4,602)	(4,290)	(4,108)	(4,990)* <sup>1</sup>
	2004年3月	2005年3月	2006年3月	2006年9月	
	14,347* <sup>2</sup>	13,424	13,628	13,459	
	(4,920)	(4,437)	(4,705)* <sup>3</sup>	(4,937)* <sup>4</sup>	

- 註: 1. 旧日石三菱精製、旧東北石油、旧興亜石油の合併(02/4)により、人員が増加している。  
 2. 大日本土木の新規連結の影響により、人員が増加している。  
 3. 新日本石油ガスとの合併により、人員が増加している。  
 4. 新日本石油化学の本社部門統合により、人員が増加している。

# ＜主な海外拠点＞



# <主な石油・天然ガス開発プロジェクト>



# ＜主な石油・天然ガス開発プロジェクトの概要＞ (2006年1-9月実績平均)

プロジェクト地域/会社	総生産量 (千BD)	権益原油 (千BD)		2P <sup>+</sup> 埋蔵量 * (百万Bbl) プロジェクト会社分
		プロジェクト会社分	当社持分	
<b>〔米国メキシコ湾〕</b> NOEX U. S. A.	34	10	10	33
<b>〔英国北海〕</b> 日本ノースシー石油 NOEX Production U. K.	89 142	5 9	2 9	44
<b>〔ベトナム〕</b> 日本ベトナム石油	61	18	17	＜東南アジア計＞ 468
<b>〔ミャンマー〕</b> 日石ミャンマー	81	10	5	
<b>〔マレーシア〕</b> 日石マレーシア 日石サラワク	60 165	34 43	27 33	
<b>〔パプアニューギニア〕</b> 日本パプアニューギニア石油	48	2	1	＜大洋州計＞ 17
<b>〔オーストラリア〕</b> NOEX Australia Pty Ltd.	39	10	10	
<b>〔カナダ〕</b> 日本カナダ石油	243	12	12	274
合 計	962	153	126	836

\*:2005年12月時点の確認埋蔵量および推定埋蔵量(現在開発中のプロジェクトの埋蔵量を含む)

# <個別プロジェクトの概要>

## 米国メキシコ湾



【06年1-9月生産数量】 10,300boed  
(油 2,300b/d、ガス 48mmcf/d)

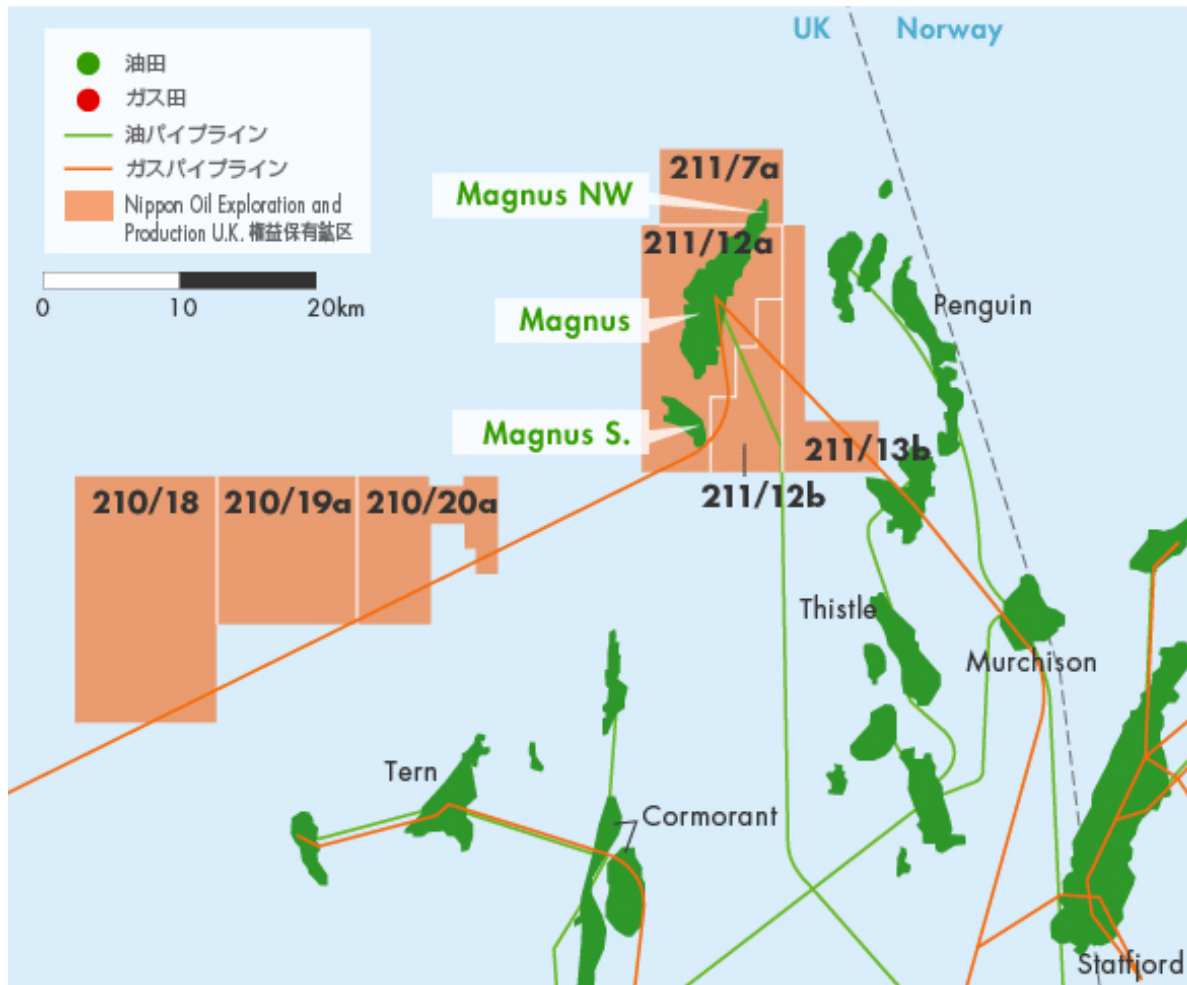
【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率  
Nippon Oil Exploration U.S.A. Ltd.  
(100%)

【権益比率】 1.6%-100%

【オペレーター】  
Nippon Oil Exploration U.S.A. Ltd.、  
ココフィリップス、トータル 他

1989年 テキサス州陸上鉱区、米国メキシコ湾大陸棚域および深海域において探鉱・開発・生産事業を展開。オーチャードノース・ガス田、アコンカグア・ガス田、バーゴ・ガス田に加え、2005年デボン社よりメキシコ湾の権益を取得。

# 英国北海



【06年1-9月生産数量】 13,800boed  
(油 8,200b/d、ガス 34mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
・日本ノースシー石油(株)(50%)  
・Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd. (100%)

【権益比率】 3.5%-50%

【オペレーター】 BP、シェル、マラソン 他

・日本ノースシー石油(株)

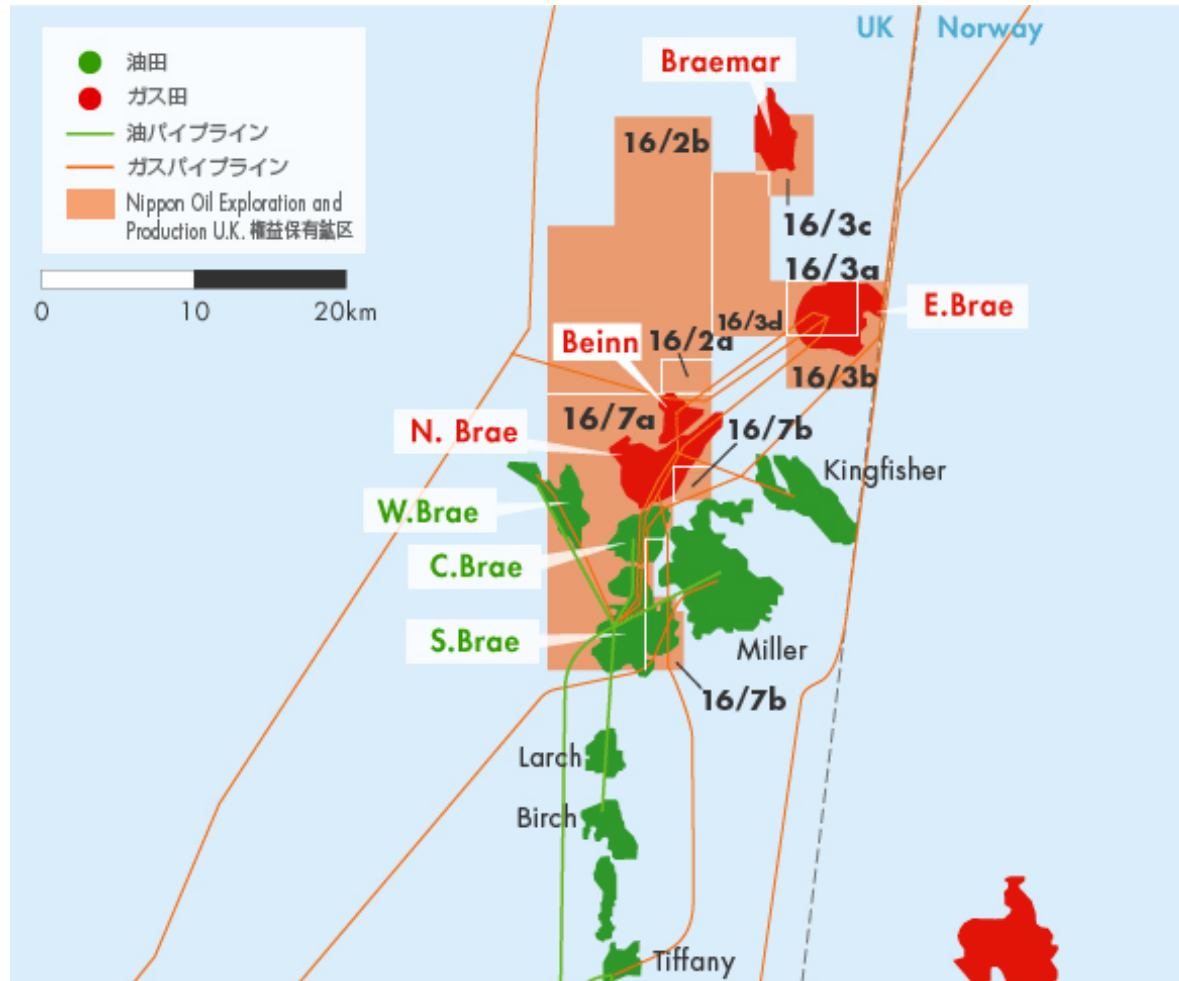
1994年 アンドリュウ、ムンゴ/モナン、ピアス、ミレン/マース及びブレイン油田の権益を取得。現在、探鉱・開発・生産事業を展開中。

・Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd

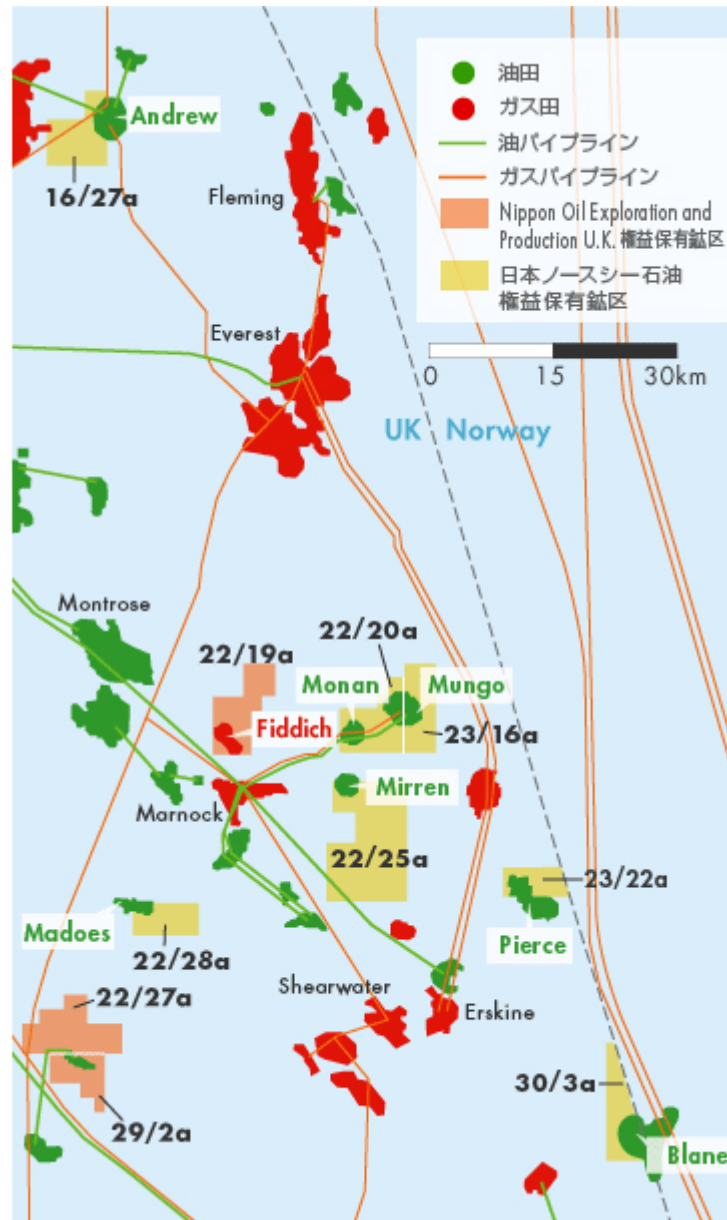
1996年 マグナス油田、2002年 ブレイガス田、フィデック・ガス田の権益を取得。現在、開発準備及び生産事業を推進中。



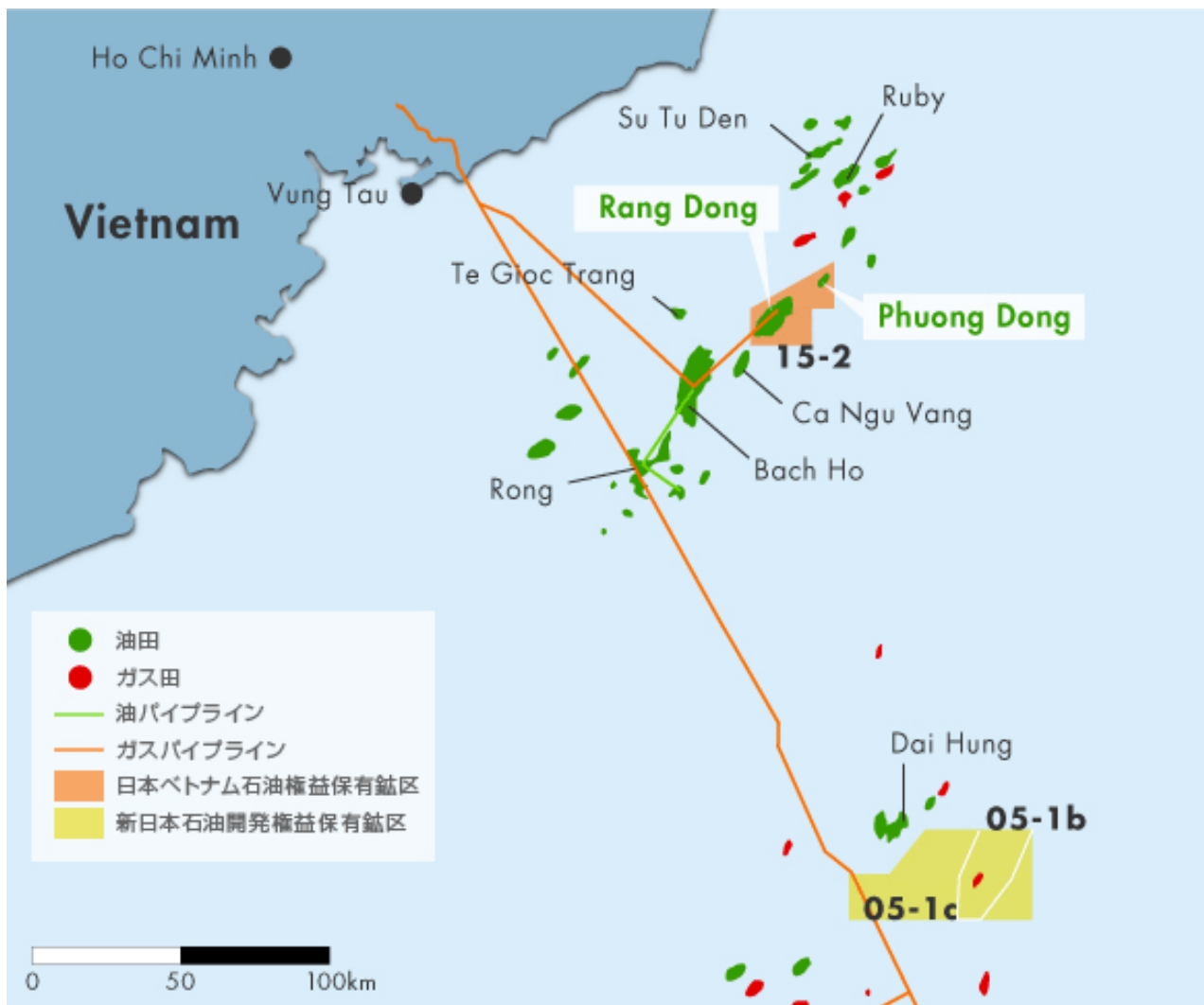
# 英国北海



# 英国北海



# ベトナム



【06年1-9月生産数量】17,700boed  
(油 13,200b/d、ガス 27mmcf/d)

【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率  
日本ベトナム石油(株)(97%)

【権益比率】46.5%

【オペレーター】  
日本ベトナム石油(株)

- ・1992年 15-2鉱区権益取得。
- ・1994年にラドン油田を発見し1998年より生産開始。
- ・2006年に、ラドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトが、CDMとして承認された。

# ミャンマー



【06年1-9月生産数量】 10,000boed  
(油 1,100b/d、ガス 53mmcf/d)

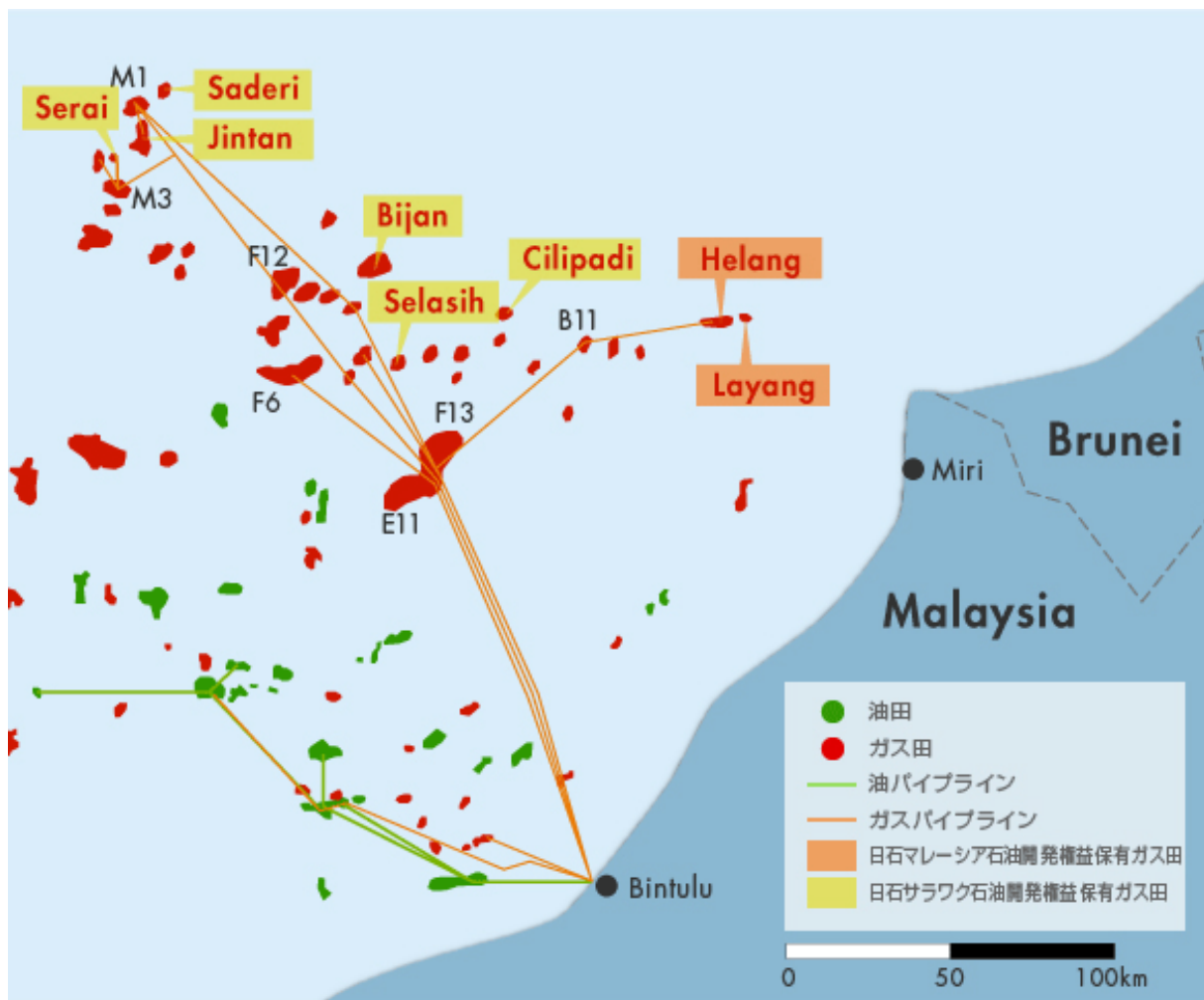
【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
日石ミャンマー石油開発(株)(50%)

【権益比率】 19.3%

【オペレーター】 ペトロナス

- ・1991年 ミャンマー海上M-13/14鉱区権益を取得。翌年M-13/14鉱区権益を取得、同年イェタグン・ガス田を発見。
- ・2000年 タイのラチャブuri発電所向けに天然ガスの生産を開始。

# マレーシア



【06年1-9月生産数量】 33,900boed  
(油 9,000b/d、ガス 149mmcf/d)

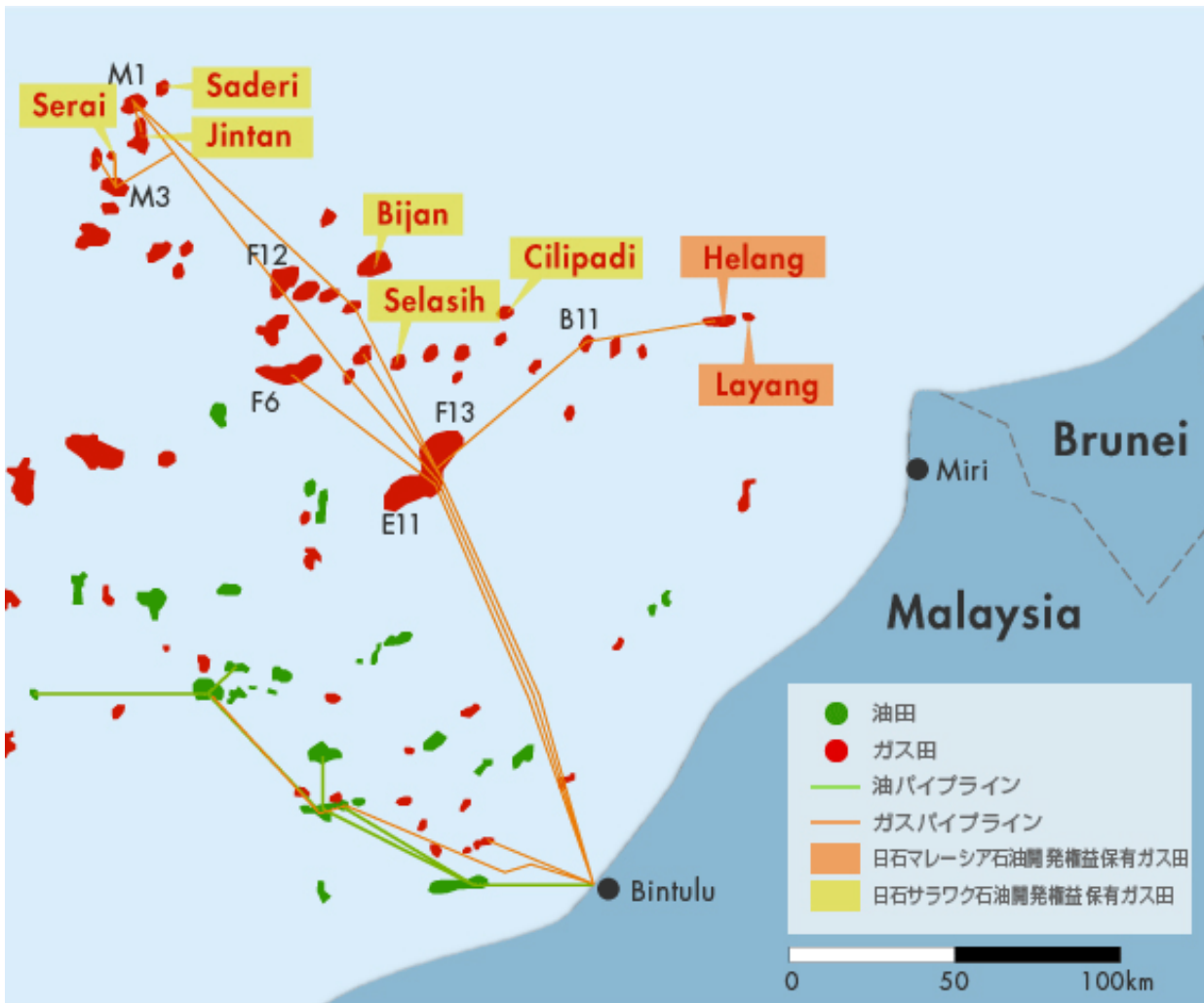
【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
日石マレーシア石油開発(株)(78.7%)

【権益比率】 75%

【オペレーター】  
日石マレーシア石油開発(株)

- ・1987年 サラワク州沖SK-10鉱区の権益を取得。
- ・1990年にヘラン・ガス田を発見し、2003年より生産開始。

# サラワク



【06年1-9月生産数量】 43,400boed  
(油 3,400b/d、ガス 240mmcf/d)

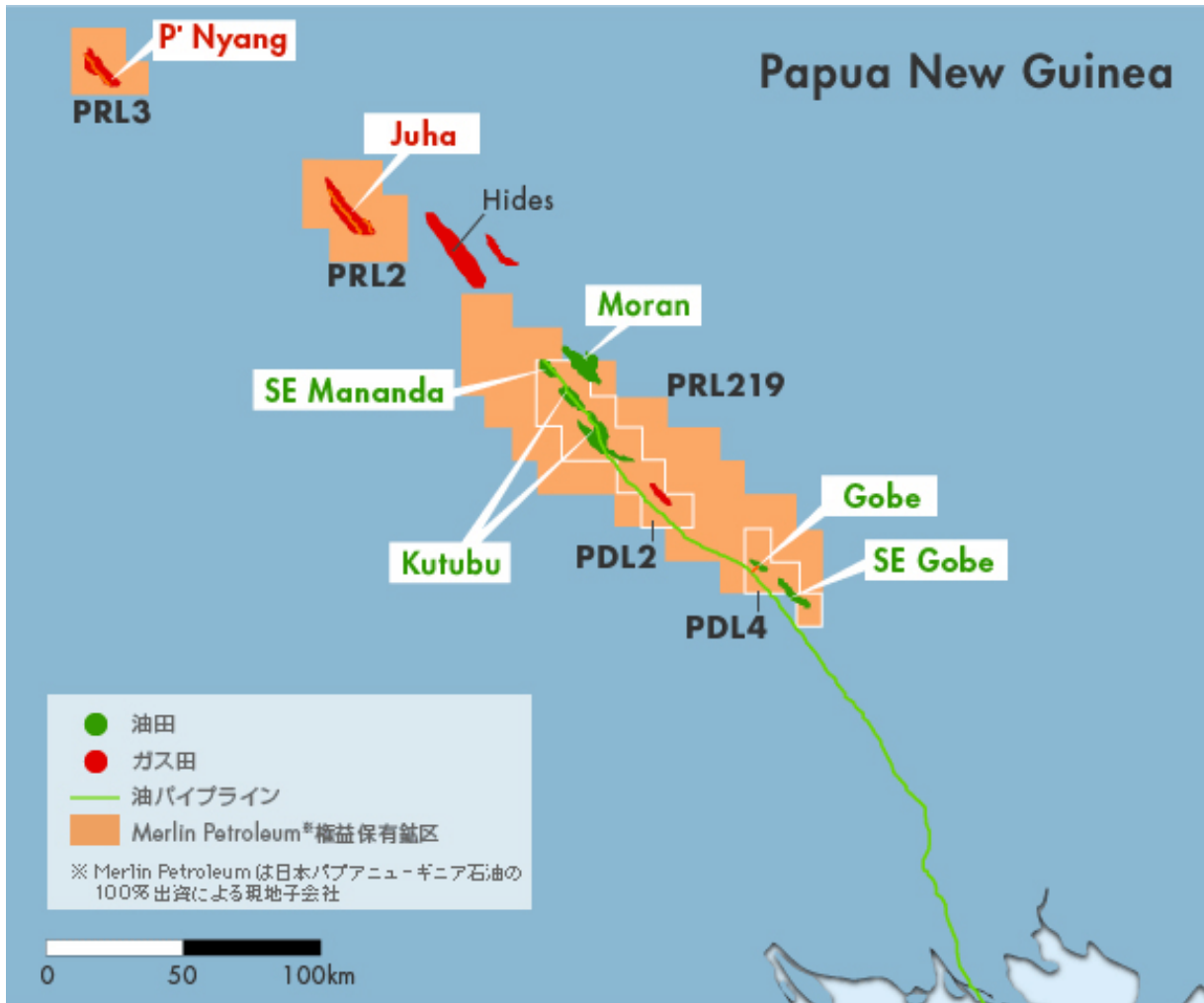
【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
日石サラワク石油開発(株)(76.5%)

【権益比率】 37.5%

【オペレーター】 シェル

- ・1991年 SK-8鉱区権益を取得。
- ・1992年から1994年にかけて、ジントン・ガス田、セライ・ガス田を発見し、2004年より生産開始。

# パプアニューギニア



【06年1-9月生産数量】 2,400b/d

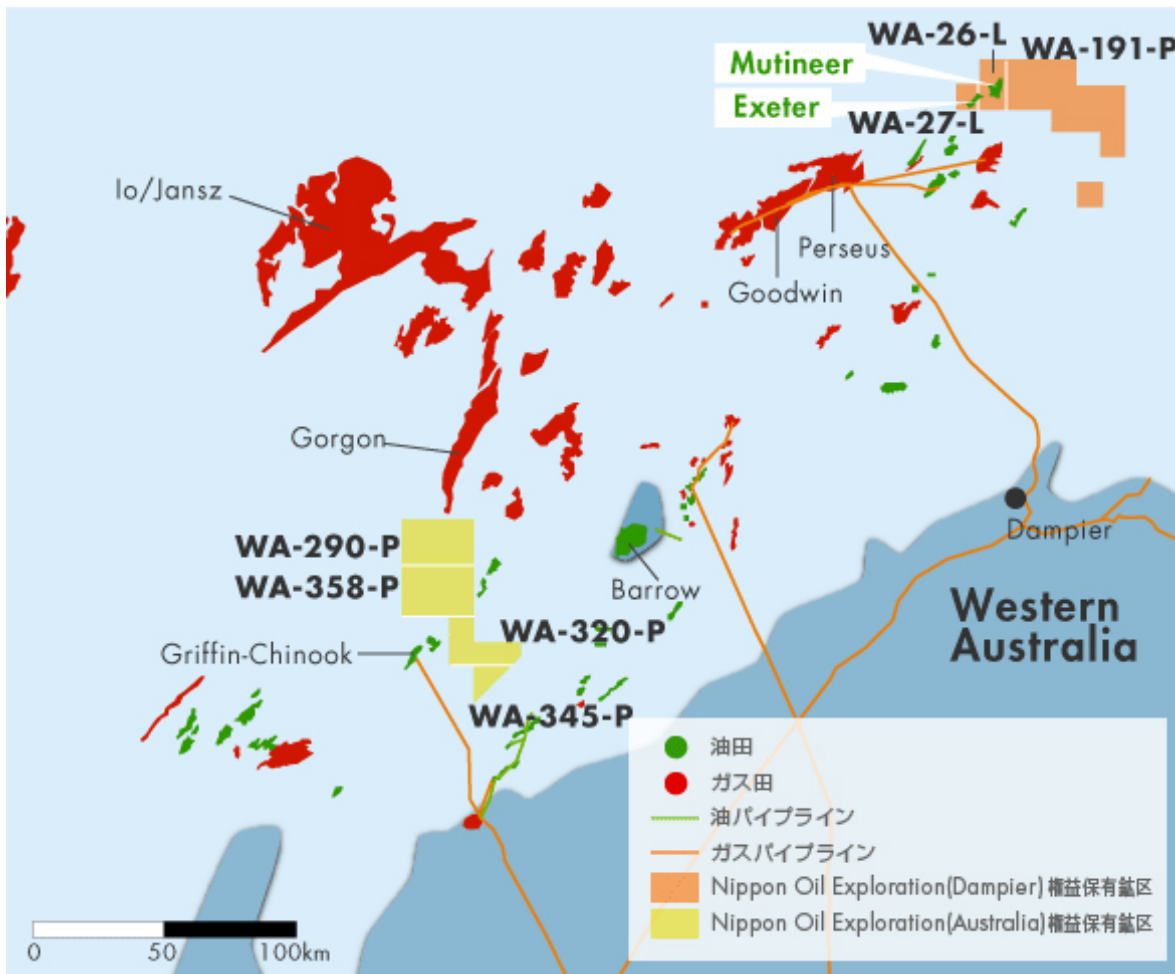
【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
日本パプアニューギニア石油(株) (36.4%)

【権益比率】 2.8-12.5%

【オペレーター】 オイルサーチ、エクソンモービル

・1990年 マーリン社保有のパプアニューギニア探鉱鉱区の権益を取得。  
その後クツブ、モラン、ゴベ、SEゴベ、SEマナダ油田において開発/生産事業を推進し、さらに探鉱事業も実施中。

# オーストラリア



【06年1-9月生産数量】 9,700b/d

【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率

Nippon Oil Exploration (Dampier)Pty. Ltd. (100%)

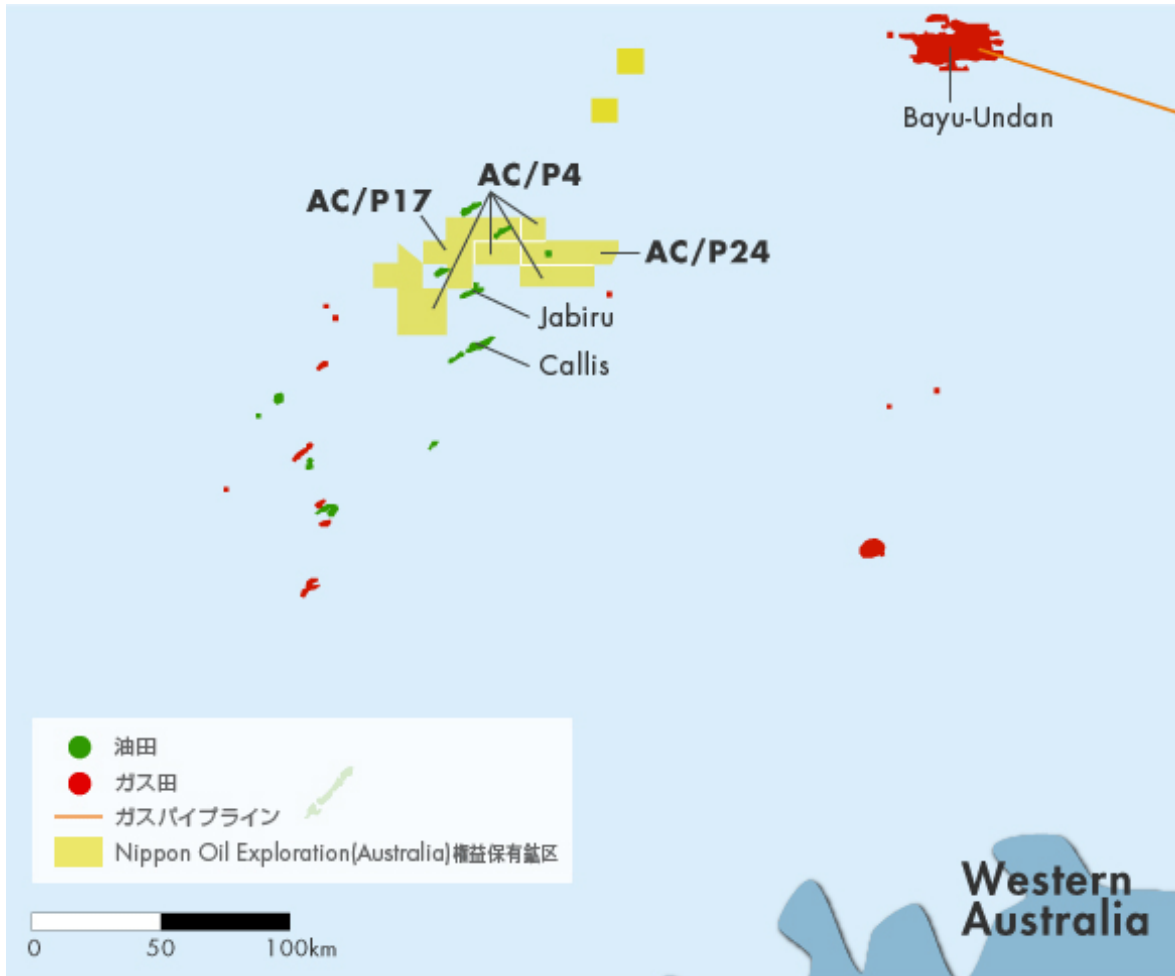
【権益比率】 25%

【オペレーター】 サントス

1997年 WA-191-P鉱区の権益25%を取得。その後、ムティニア油田、エクセター油田を発見し、2005年より生産開始。



# オーストラリア



【06年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率  
Nippon Oil Exploration (Australia)Pty. Ltd. (100%)

【権益比率】 25%-30%

【オペレーター】 OMV

2004年 WA-290-P、WA320-P、WA-345-P 鉱区の権益をそれぞれ25%、AC/P24 鉱区の権益30%を取得。

2005年にはAC/P4、AC/P17、AC/RL4、AC/RL5の権益をそれぞれ30%、WA-358-Pの権益25%を取得。

【06年1-9月生産数量】 12,200b/d

【プロジェクト会社】 ( )内 当社グループの出資比率  
日本カナダ石油(株)(100%)

【権益比率】 5%

【オペレーター】 シンクルード・カナダ

- ・1992年ペトロカナダ社保有のシンクルード・プロジェクトの権益5%を取得。
- その後、現地子会社Mocal Energy Ltd (新日本石油開発の100%出資)に権益を譲渡し、生産事業を推進中。



# インドネシア

【06年1-9月生産数量】 -

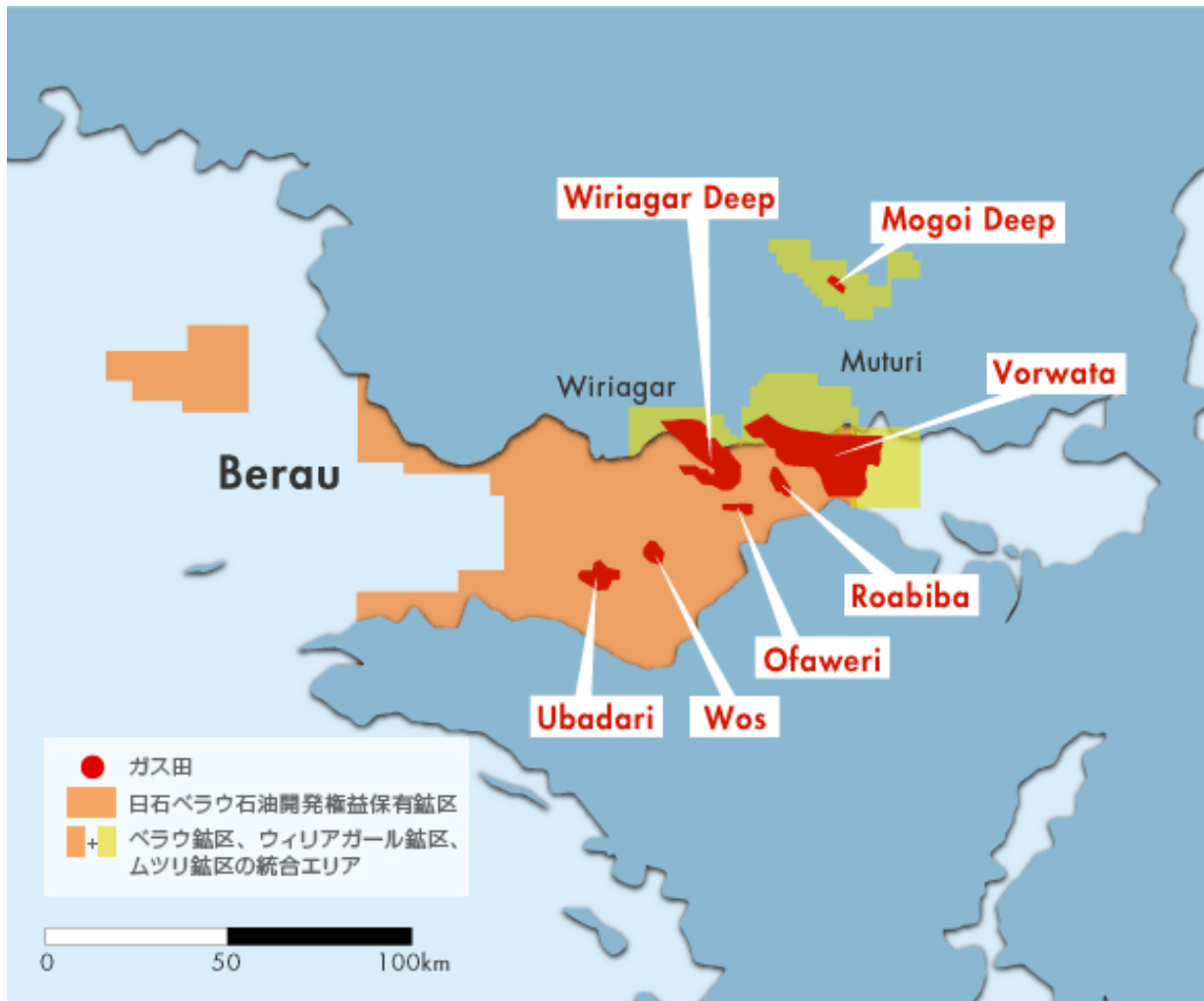
【プロジェクト会社】( )内 当社グループの出資比率

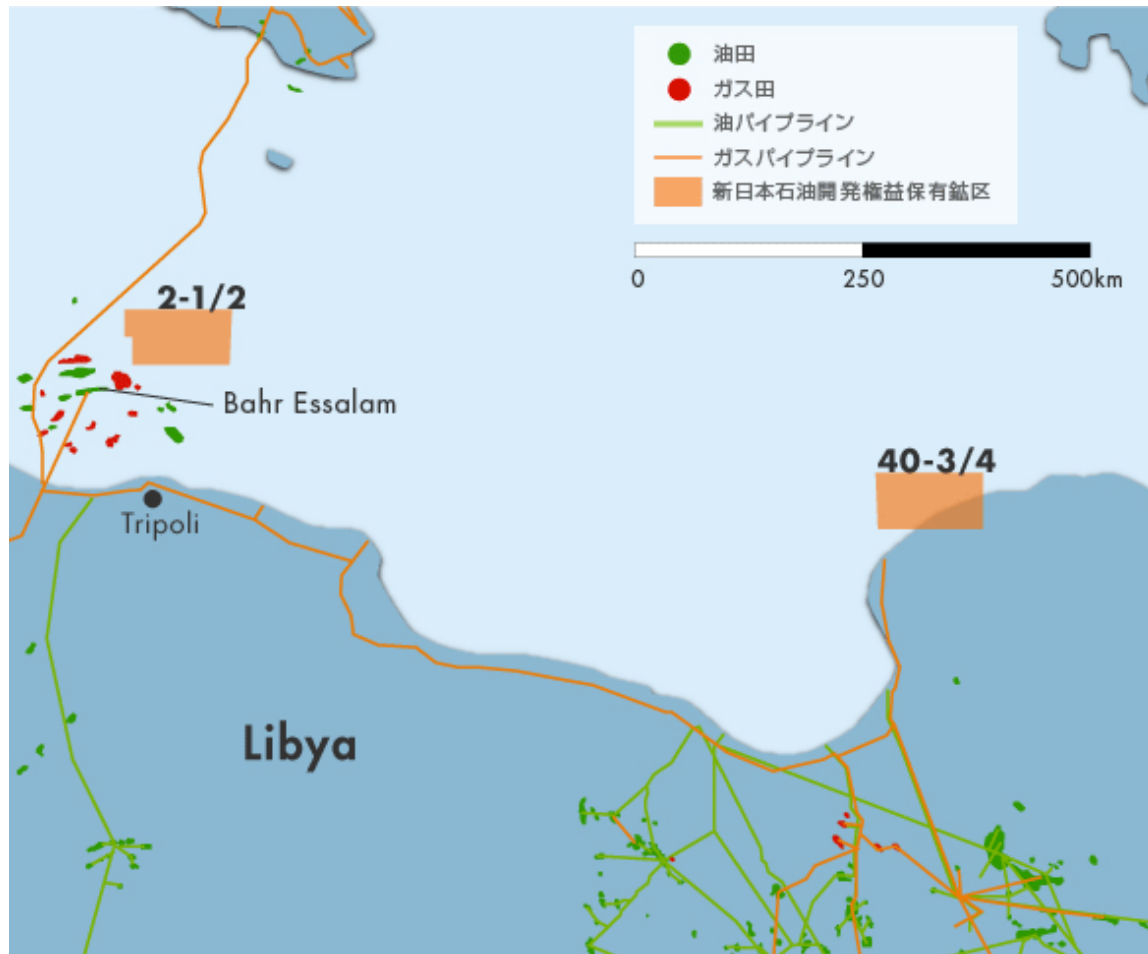
日石ベラウ石油開発(株)(51%)

【権益比率】 12.2%(ユニタイズ後)

【オペレーター】 BP

- ・1990年より試掘3坑を掘削し、天然ガスを発見。その後フォルワタ構造、ウリアガールディープ構造等において天然ガスを発見。
- ・2003年よりベラウ、ウリアガールおよびムツリの3鉱区のパートナー間で鉱区をユニタイズし、共同開発作業を推進中。
- ・2008年 生産開始予定。





【06年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】  
新日本石油開発(株)

【権益比率】 90%(2-1/2鉱区)  
38%(40-3/4鉱区)

【オペレーター】  
新日本石油開発(株) (2-1/2鉱区)  
(株)ジャハックスリビア (40-3/4鉱区)

- ・2005年10月公開入札にて地中海沿岸部(海上)の2鉱区(2-1/2、40-3/4)を落札。今後、探鉱作業を開始。

## ＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。